

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2023年2月25日

事業所名：パンダキッズ元町

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動に応じて、部屋のレイアウトを変えるなど、必要な空間の確保しています。	15名回答(はい…14名、わからない…1名) 「子どもたちの活動のスペースは、確保できている。」とご意見を頂きました。	必要なスペースは確保できているが、近隣の公園にも出かけて活動の幅をさらに広げていきます。
	2 職員の適切な配置	必要な人員配置を確保しています。	15名回答(はい…12名、どちらともいえない…1名、わからない…2名) 「数は、適切である。」とのご意見を頂きました。	人数の配置は適切に実施しているが、さらに手厚い支援をしていくことができるよう努力します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	コップや箸を片付ける場所に、子どもが見て分かりやすいように、目に留まりやすい場所にイラストや、児童個人のマークをつけるなどの視覚的工夫をしています。	15名回答(はい…10名、どちらともいえない…1名、わからない…4名) 「適切である」とご意見を頂きました。	適切な環境になるよう配慮しています。今後も利用している子ども達の成長に応じて日々、工夫・配慮して行きます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	掃除と消毒をこまめに行い清潔さを保持にしています。また、検温の実施も行っています。	15名回答(はい…13名、わからない…2名) 「子どもたちも心地よく過ごせている。」とご意見を頂きました。	毎日、使用した遊具の消毒並びに児童が帰宅後に掃除、消毒を徹底して行っています。引き続き清潔な環境を保っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日朝礼を行い逐次、ご父兄な児童本人の報連相を行い、且つ連携している保育園との情報を共有し、月1回は、職員全体のミーティングを実施しています。		職員が積極的に参加できるような環境を整えます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修の案内を知らせています。 ※ 今年度は、新型コロナウイルス感染予防で自粛しています。		研修に参加したり、毎月実施しているミーティングで得たものを職員全体で共有して行きます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況を正確に把握し、保護者との面談を通して課題を共有し療育に向け指導方法等を確認しています。	15名回答(はい…15名) 「とても親身になって利用者の話を聞いて頂き、支援計画を立てて頂いている」とご意見を頂きました。	日々の関わりの中で必要な支援を分析して、子どもにとってより良い支援を計画できるように、今後も努力して行きます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況を職員間で話し合い、必要な課題を見つけて個別支援計画書に反映できるようにしています。		管理者と現場の職員と一緒に話し合いを行うことで、子どもの状況をより深く理解して適切な支援ができるよう支援計画を作成します。
	3 児童発達支援計画書又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者に分かり易いように具体的に支援内容を詳細に記載するようにしています。	15名回答(はい…13名、どちらとも言えない…1名、未回答…1名)	今後も支援計画書を作成後には改めて職員間で見直すことで、保護者目線において分かりやすいか否かの確認行って行きます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	全職員が個別支援計画書を見て課題を共有して支援できるようにしています。	15名回答(はい…14名、どちらともいえない…1名) 「とても満足しています」とのご意見頂きました。	支援計画を職員全体で把握することで、適切な支援ができるようにします。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当者を決めて、担当者を中心に活動プログラムを立てています。		毎週、活動内容についての話し合いを行うことで、より充実した活動になるよう努めます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園と併用している子どもの長期休暇に関しては空き状況によって、できるだけ利用できるように支援しています。		休暇明けに子ども達の体調変化に留意しながら適切な支援をしていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムを週ごとに立てることで、内容が固定化しないように努めています。	15名回答(はい…11名、わからない…4名)	活動内容を考える担当者を決めミーティングで他の職員からの様々なアイデアを取り入れるようにします。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝ミーティングを行い、支援内容・役割分担についての情報共有をしています。		常勤の職員だけでなく、非常勤の職員も役割分担についてしっかりと把握できるように情報共有を徹底していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終礼の時間に情報共有を行っています。		毎日の支援について、情報共有をするための職員の連絡ノートなどを活用します。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援に関する記録は当日中に実施し、正確性及び迅速性を担保し記入しています。		記録はその日のうちに必ず記録して正確な情報を残し、支援について日々話し合いを行うことで必要な改善をします。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの実施と児童発達支援計画書の作成漏れのないように、予定表を作成して管理しています。		定期的なモニタリング、支援計画を行っており、より良い支援を行うことができるよう努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	最もふさわしい者による会議の参加を行っています。		サービス担当者会議の時には、管理者が参画します。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		該当なし
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		該当なし
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者の了解を得た上で、子どもの支援について、保育所や認定こども園、幼稚園などと情報の提供を行っています。		引き続き、保護者の方の了解を得られた場合は保育所や認定こども園、幼稚園の担当者と情報共有を行います。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし		該当なし
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため外部での研修参加は、自粛しております。		専門機関との連携を大切にして、より良い支援に繋げていきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため外部での研修参加は、自粛しております。	15名回答(はい…4名、どちらともいえない…1名、いいえ…1名、わからない…10名)「個人では健常者のお子様と関わる機械を設けるのが難しいため、その機会を作って頂ければ嬉しい」との意見を頂きました。	今後、様々な機関との交流を図ることができるよう検討します。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため外部との交流は、自粛しております。		今後、地域の方々との交流を考えながら、行事予定を立てていくことができるよう検討します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約をする際に保護者が安心できるように丁寧な説明を行っています。	15名回答(はい…15名)	丁寧にわかりやすい説明を行います。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援会議を行う際に、個別支援計画書を項目ごとに確認しながら支援内容を説明しています。	15名回答(はい…15名)「面談時に子供の成長度合いや課題について丁寧に説明頂いている」との意見を頂きました。	保護者の方に安心できるような支援を、文面にし分かりやすく説明します。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の方、一人ひとりに応じた支援を行うことを基本として実施しています。	15名回答(はい…7名、いいえ…2名、わからない6名)	保護者との情報の共有を密にするため送迎に保育士が同伴しコミュニケーションを持つようにします。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもの発達状況について、職員から保護者へ日々の連絡ノートや、送迎の際にお伝えして共有しています。	15名回答(はい…15名) 「日々の送迎時に毎回、丁寧に子供の様子を伝えて頂いている」とのご意見を頂きました。	送迎時に子どもの様子を丁寧に話すことで共有理解できるようにします。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談に当事者意識をもって親身に答えることができるように努めています。	15名回答(はい…15名)	保護者の方への助言を必要とする場合には、職員間での話し合いをして適切な対応を行います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	新型コロナウイルス感染予防のため外部との交流は、自粛しております。	15名回答(はい…1名、どちらともいえない…1名、いいえ…7名、わからない…6名)「父母の会等が開催されれば参加したい」との意見を頂きました。	今後、保護者の方々が交流できる機会を作ることができるように検討します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご意見を頂いた際には、すぐに対応できるように常に職員で連携をとっています。	15名回答(はい…11名、どちらともいえない…1名、わからない3名)	苦情が出た時には迅速かつ適切な対応を行うように努めます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者とは連絡帳を活用しながら、個々の児童に合う伝達の方法を取っています。	15名回答(はい…14名、わからない1名)	必要に応じて直接話をしたり、電話、メールなども利用しながら情報伝達を行います。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月会報の発行と、インスタグラムの更新を行うことで、お子様の様子をお伝えしています。	15名回答(はい…13名、どちらともいえない…1名、わからない…1名) 「インスタグラム等の情報発信をもう少し頂ければ嬉しい」とのご意見を頂きました。	会報を毎月発行して、情報を正しく明確に伝える事ができるようにします。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報が洩れることのないように職員全員で個人情報保護マニュアルに従い、十分に注意し対応しています。	15名回答(はい…13名、わからない2名)	個人情報は今後も細心の注意を払って、取り扱いに気を付けます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応についての手紙を年度初め、新規利用者には契約時に渡しています。	15名回答(はい…14名、わからない…1名)	緊急時の対応について事前にわかりやすく保護者に説明ができるようにします。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に三回災害時訓練を行っています。	15名回答(はい…12名、わからない…3名)	災害時に、よりスムーズに動くことができるように、定期的に避難訓練の実施を行います。
	3	虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	虐待防止のため研修を年に一度、行っています。		定期的な職員研修の機会を持ち、適切な対応ができるように努めます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当なし		該当なし
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーの子どもがいる場合には保護者を通して医師の指示書に基づく適切な対応を行うことができるようにしています。		食物アレルギーのある子どもがいる場合には適切な対応を行います。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が発生した際は、事業所内、系列事業所職員に共有を行っています。		ヒヤリハットについて担当者がその都度確認をし、事業所内での共有も毎月行うことで情報共有を徹底して行きます。